

3月号

グリーンヒーロー

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

各地で例年にないほどの大雪の便りが聞かれるなど、厳しい寒さが続いた2月がようやく終わります。寒さと感染拡大の深刻な状況から、心も体も縮こまるような毎日でしたが、先週末あたりから少しずつ気温が上がり、春の気配を感じる事ができるようになってきました。

学校はこの1か月間、コロナ関連の学級閉鎖が続きました。学級閉鎖に伴い、予定していた懇談会が実施できなかった学年も出てしまいました。保護者の皆さまには、お仕事の調整等でご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。また、給食の提供ができずに、急遽お弁当持参となった際にもご協力をいただき、ありがとうございます。

今までの流行とは異なり、第6波では感染力の強さや子どもたちの感染が増えていることを実感しています。学級閉鎖は感染の拡大を最小限に抑えるための対応ではありますが、3学期は学年のまとめの大事な時期です。学習や生活面に影響が出ないように、引き続き毎日の検温や健康管理にご協力ください。体調がすぐれない時は、無理をせずにご家庭で様子を見ていただく等のご配慮も併せてお願いいたします。

6年生はあと1か月で卒業です。中学校進学に向けての今は大切な準備期間です。子どもたちには、残りの小学校生活を元気に楽しく過ごし、そして、たくさんの思い出を胸に、草柳小学校から巣立って行ってほしいと思っています。

2月22日(火)に「おかえりなさい運動」お礼の会がありました。以前は児童、教職員が体育館に集合し、皆さまをお招きして開催していましたが、このコロナ禍で昨年度は実施できませんでしたが、今年は手紙とビデオレターでお礼の気持ちをお伝えしました。

3年生から6年生がビデオを作成しましたが、その中でおかえりなさい運動の皆さまを「僕らのグリーンヒーロー」と称したクラスがありました。そのネーミングで思い出したのは、今の3年生が入学した年の1年生の防犯教室です。少年補導員の方が「おまわりさんの仕事は何だろう。」と質問した時、ほぼ全員が「私たちを守ってくれるお仕事。」と答えていました。他校では必ず「悪い人を捕まえるお仕事。」という答えが最初に返ってくると聞いて、草柳の子どもたちにとって、大人は自分たちを守ってくれる存在で、それを子どもたち自身も肌で感じているのだと思いました。毎日の下校時、交差点で声をかけてくださるグリーンジャンパーの方々の存在が、子どもたちの信頼や安心感につながっているのだろうと、その時実感したものです。

凍てつく寒さの2月もグリーンヒーローの皆さまは、道の辻々で子どもたちを見守ってくださいました。季節がめぐり暑い夏が来ても、雨の日も風の日も、変わらず子どもたちに「おかえりなさい」と声を掛けてくださいます。

あらためて皆さまに感謝するとともに、保護者の皆さまからも、一言お礼のお声掛けをしていただければと思います。